

事業所名

療育教室門真校

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

5 日

法人（事業所）理念		将来の社会的自立を目指し、各プログラムを通して様々な経験を積み重ねることで多様性を身につけたり、総合的な生活スキルの向上を育む支援に取り組みます。					
支援方針		基本的に毎日利用で障がいがあるからと制限することなく、スポーツやアート、ミュージックなどの様々な活動に取り組み、支援をしています。一人ひとりの個性を大切にして、経験豊富なスタッフと楽しみながら「できる」ことを増やす支援に取り組みます。					
営業時間		11 時	0	から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	健康的な心と体を育て自ら安全な生活を作り出し基本的スキルの向上や生活リズム等を身につけられるように支援しています。体重管理の為、週に1日体重測定と3カ月に1度インボディ測定をしています。					
	運動・感覚	姿勢と運動・動作の向上により筋力の維持や向上等を図り、手段の活用や保有する感覚の総合的な活用による移動能力の向上や、感覚の偏りに対する環境調整等の支援をしています。運動は近くの公園や陸上競技場に行き、ミニハードルを使って運動したり、坂道を利用してダッシュの練習などをしている。筋トレやストレッチも継続的に実施し身体の柔軟性や姿勢保持の力の向上に努め支援しています。冬期はスタミナの向上を目指して5kmから10km程度のランニングをしています。					
	認知・行動	認知の発達を促し、行動に移す認知過程の発達や空間・時間、数等の概念形成の習得、対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得を支援しています。学習時間を15分程度に設定し、利用者個々の知的能力の確認のための学習支援をします。特性に応じ創作活動や音楽活動、空間認知など、認知・感覚の向上を図っています。小集団での活動でその場に応じた行動や考え方などを支援しています。					
	言語 コミュニケーション	言語の形成と活用や言語の受容及び表出、コミュニケーションの基礎的能力の向上や手段の選択と活用を支援しています。日常的に丁寧な言葉でお話るように声掛け支援をしています。時には手話や絵カード、写真などを使用してコミュニケーション支援をしています。生活全般に必要な正しい日常会話ができるようにコミュニケーションの基礎的能力の向上と、相手との言葉のキャッチボールができるように言語の形成と活用を支援しています。					
	人間関係 社会性	他者との関りの形成や自己理解と行動の調整、仲間づくりと手段への参加を施し、徐々に社会性の発達支援をしています。自分の思いや考えを相手に伝える力をみにつけることや、相手の気持ちや、他者のやりたいことを理解し、友達と関わりながら遊びを決めたり、ルールを守る力を育めるように支援しています。グループ活動を通して協調性を高めソーシャルスキルトレーニングを実際の活動の中で取り組み、相手の気持ちを考えるトレーニングを行い、社会生活に必要な人間関係や社会性を身につけ、学校卒業後の自己実現に向けた支援をしています。					
家族支援		障がいについて理解していただけるように丁寧に説明したり、家族の子育て支援（発達や病院情報など）や、兄弟・姉妹などの悩みなど保護者からの相談はいつでも対応しています。		移行支援	各関係機関と連携を図り、交流できる工夫をし関係づくりに努めています。進学や就労に向けては、会議などに参加して切れ目なく支援の継続ができるように情報共有を図っています。		
地域支援・地域連携		門真市児童発達通所支援事業所連絡会に参画し連携を図っています。連絡会の会長として児童専門部会やサブ協議会にも参画し、各関係機関との連携をよりよくするように取り組んでいます。		職員の質の向上	事業所内の専門性研修は週1日あります。個別の支援計画についての会議は週2日あります。その他は外部研修に参加したり、他事業所との交流会や勉強会に参加し、質の向上に取り組んでいます。		
主な行事等		避難訓練・防災訓練、ハイキング、プール、動物園、防災センター、工場見学。お花見。 ふれあい感謝祭やスプリングカーニバルへの参加。マラソン大会やスポーツフェスタへの参加。					